

「水」の事故から



子どもを守る！

残念なことです。各地で水の事故が相次いでいます。。。
子どもを助けようとした大人が命を落としたニュースもありました。
警察庁生活安全局地域課 発表では中学生以下の子どもの水難者は令和6年105件！
行為別の水死者数は「水遊び」が約25% 水深10cmでも事故は起きます。

「1番は未然に防ぐこと」

もっとも大切です。日常の中でも子どもの行動範囲に目を配り、**危険な場所を保護者が把握**しましょう。

- * 子どもから目を離さない
- * 日頃からの教育
- * 危険な場所へは行かせない

「泳ぐよりも浮くことを考える」

UITEMATE(浮いて待て)は世界の共通語

水に落ちると多くの人がパニックになります。服を着たまま水に落ちる経験がなく、また必死で泳ぐことを考えてしまいます。しかし**服を着たまま水に落ち、泳ぐことは想像以上に難しい**のです。

- * 水の事故で命を落とすのは、ほとんどが「溺死」(＝呼吸ができなくなる)
- * 浮くことを考えて呼吸を確保
- * 浮いていたら「泳ぐ」か「待つ」か

「そばにいる人が水に落ちたらどうするか？」

もし目の前で水に落ちてしまった人がいたら・・・

「真っ先に自分も飛び込んで助けに行く」ということは避けましょう。

その人の代わりにアナタ自身が死んでしまっは意味がありません。

共に助かる方法を知っておきましょう。

- * 近くに「棒」「ロープ」「ペットボトル」などを渡す
- * 大声で周囲に助けを呼ぶ



着衣水泳体験の様子

「服が凶器になる」

水難事故の8割が「泳ぎに行った時以外」というデータがあります。

水に濡れた洋服の重さは想像を絶します。服と服の間にも水が入り込み、水風船をいくつも付けている状態になります。服を着たまま泳ぐことは非常に難しいのです。着衣水泳体験で安全意識向上を。

JSS岩見沢では！

2025年

着衣水泳体験を行います！

7月

1日(火) 3日(木) 4日(金) 12日(土)

注意: 7月5日(土)はスクール休館日となっています

持ち物: Tシャツ(指定品または白っぽいもの) 短パン(洗濯済み) 濡れた衣類を入れるビニール袋

水着の上に白いTシャツを着て泳いでみます 授業前半20分程度実施

濡れた服がどうなるか？体験して考える授業です

水着の上にTシャツ短パンを着用して体操場に集合

*** 万が一忘れた場合でも参加できます
貸し出しはありません**